

に い が た ろうしきょう NEWS

巻頭シリーズ・元気な笑顔が素敵！ すまいる介護ウーマン



1

四季を通じてイベントが目白押し。花見はもちろん、近くの加茂川を泳ぐ鯉のぼり見学、クリスマスにはみんなで絵入りカップを積み上げたツリー。落語のボランティアも。

チーム全体の
気分を作るのも
リーダーの役割
だと思います。

デイの仕事は、苦情も来ます。その時は、ご家族と話したり部屋を見たりして変化を理解する機会なんです。



2

中庭を囲んで長い廊下は、自然光がとりにまれて明るい。かっこうの散歩コースになっていて、冬でもリハビリ、運動に使われている。

■忘れられないこと 退院されたばかりの利用者様が、送迎車の中で意識を失って心臓マッサージをしたことがあります。寒さはお年寄りには大敵です。寒い中での車のドアの開閉には気を遣います。年に三度くらいご家族と介護教室を開催してお悩みや愚痴を聞きあうのですが、冬のトイレやお風呂などの寒暖差は特に注意をお願いしています。

■今後の自分 終末期への不安を抱えるお年寄りお一人ずつに寄り添うこの仕事は、尊厳と意味のある仕事だと思います。この仕事を選んでよかったと。私はこの仕事は終わりが無いと思っています。日々学び、気づきがあること。ベテランになっても、初心を忘れず、謙虚に取り組んで行きたいですね。



すまいるウーマン 大泉香織 さん

○所属 デイサービスセンター 平成園
○経歴 1974年11月三条市生まれ
加茂高校～一般企業で事務・営業職～
平成9年、特養第二平成園のオープン時
に入職～特養平成園を経て現職。
現在、デイサービスセンター副主任・
介護福祉士。



窓にはいつも鉢植えの花や植物が。窓から覗く中庭には、春から秋にかけて花が咲き誇る。スタッフが手入れする葡萄棚も自慢のひとつ。

デイサービスセンター 平成園

○社会福祉法人 加茂福祉会
○特別養護老人ホーム 76名
ショートステイ 14名
デイサービス 30名
○新潟県加茂市石川2-2472-1
TEL 0256-52-1711

URL http://www.city.kamo.niigata.jp/section/kaigo/kamo_fukushikai.htm

介護は、終わりのない仕事だから。

■就職の理由 高校の頃、祖父の介護の様子を見ていて漠然と関心はありました。人に接する仕事が好きで、前の会社でも事務から営業に異動させてもらったくらい。たまたま第二平成園ができることを知り、すごく興味が湧きました。迷いもなく退職して、半年後に第二平成園に就職。知識がなかったのも、言葉ひとつにもとまどうことはありましたが、でも、この仕事を辞めようと思ったことはないんです。

■仕事のポイント 変化の気付き、でしょうか。表情を見て、眠そうだなとか、呼吸が辛そうだなとか。仕事、性格、同じ人は一人もいません。それぞれの変化が初めはわからなくて、判断できなかった。仕事を任せられ、自信ができてきても、その頃のことには忘れないように心がけてきました。

●●●平成31年度 新潟県福祉団体共同要望●●●



県内の福祉関係10団体が昨年12月25日に県庁で花角知事、藤山福祉保健部長と面談し、県の2019年度予算に対する要望を行いました。本会は「現在行われている介護事業所に対する支援施策を継続すると共に、外国人介護人材の受け入れにかかる支援体制の整備」「軽費老人ホーム(ケアハウス)における消費税増税への適切な対応」を要望いたしました。新潟県は県の財政が厳しいことから10%のシーリングを設けていますが、高橋会長より「いずれも本会会員の切実な要望であり是非とも県の政策に反映させて頂きたい」との説明が行われました。

◆◆◆平成31年度 大会・研修予定◆◆◆

たくさんの方のご参加をお待ちしております。

研 修 名	日 程	対 象	内 容	会 場
第24回新潟県老人福祉施設研究大会	9月10日(火)・11日(水)		全体会・分科会	糸魚川市民会館 他
Web自立支援介護研修会	毎月第4火曜 全12回		自立支援介護	—————
新潟県介護力向上講習会	奇数月第2木曜 全6回		自立支援介護	燕三条地場産センター
管理者研修会 第1回	5月29日(水)			新潟ユニゾンプラザ
第2回	3月下旬(調整中)			新潟ユニゾンプラザ
企画研修第1回研修会	5月24日(金)	初任者	マナー、記録等	新潟ユニゾンプラザ
第2回研修会	7月4日(木)	新任責任者	制度改正、コーチング等	新潟ユニゾンプラザ
第3回研修会	7月(調整中)	在宅系相談職	意思決定支援等	(調整中)
第4回研修会	9月30日(月)	特養相談職	契約、ソーシャルワーク等	燕三条地場産センター
第5回研修会	11月15日(金)	中間管理職	法関係、会計等	燕三条地場産センター
第6回研修会	1月24日(金)	現任職員	自立支援介護等	新潟ユニゾンプラザ
総務委員会企画研修	11月(調整中)			(調整中)
認知症介護実践者研修	12月～ 2月			新潟ユニゾンプラザ

※ 変更になる場合がございます。正式なご案内は改めてお知らせいたします。

※ その他、各ブロック部会で研修会を開催予定です。(主に偶数月)

♪♪♪ ふれあいホットコンサート ♪♪♪

公益財団法人新潟県文化振興財団様による事業で、財団が得た収益を社会還元する観点から、全経費を財団が負担し、身体的な理由でコンサートホールに足を運ぶことが困難な方々を対象にアウトリーチ（施設内コンサート）したものです。今年度は特別養護老人ホーム5施設で開催していただきました。

出演者をはじめ、関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

※ 特別養護老人ホームとっさか 6月6日（水）開催 広報誌No.33掲載済

特別養護老人ホームみなみ園 7月3日（火）

この度、新潟県文化振興財団主催のふれあいホットコンサートを特別養護老人ホームみなみ園で開催させていただきました。

当日は高橋維様、山本耕平様、安部可菜子様の3名の方から演奏していただき、入居者さんは普段味わえない時間を過ごされました。

入居者さんからは、その声量に驚かれたり、自分達が知っている歌と一緒に歌ったりと、楽しいひと時を過ごされました。（相談員 栗原勝彦）



左：安部可菜子さん（ピアノ）
中：高橋 維さん（ソプラノ）
右：山本耕平さん（テノール）

特別養護老人ホームつかのめの里 7月4日（水）



左：安部可菜子さん（ピアノ）
中：高橋 維さん（ソプラノ）
右：山本耕平さん（テノール）

クラシックのコンサートに来ていただけるんだって～すごいね～職員は大喜び！でも、ご利用者は大丈夫かな？一抹の不安を抱きながら開幕したオペラのコンサートでしたが、予想を遥に超えるご利用者の反応！劇仕立てのオペラは、ご利用者をあっと言う間に椿姫やリゴレットの世界に連れて行ってくれました。プロならではの素晴らしい歌声にご利用者はキラキラした表情で、見入って、聞き入っていました。やっぱり本物の力はすごいな～と感動しました。

イケメンのお兄さんや美しいお姉さんの素敵なドレス姿や粋な振る舞いにもご利用者は目が離せなかったようです。

嬉しくなって掛け声をかけてしまったご利用者もいましたが、それが更なる一体感を醸し出し、本当に楽しいひと時を提供して頂きました。またの機会をお待ちしております。いつでもウエルカムです！（園長 村山裕子）

特別養護老人ホームよねやまの里 9月12日（水）

9月12日（水）の敬老会にフルート奏者の丸田 悠太（まるたゆうた）様と、ハープ奏者の高江洲 愛（たかえすめぐみ）様のお2人をお招きして、本格的なクラシック曲から懐かしいメロディー曲を披露して頂きました。会場いっぱいに包み込まれる優しく素敵な音色に、ご利用者からアンコールの声があがり最後に「大きな古時計」を演奏して頂きました。

当日は多くのご家族様にも来園して頂き、ご利用者様、職員共に楽しく敬老の日を祝う事ができました。

（法人広報委員会委員長 井澤辰圭）



左：丸田悠太さん（フルート）
右：高江洲 愛さん（ハープ）

特別養護老人ホーム太陽の園 11月20日（火）



左：須藤千晴さん（ピアノ）
右：枝並千花さん（ヴァイオリン）

「ふれあいホットコンサート」には特養、デイサービスご利用者、そのご家族や園内掲示ポスターで知ったボランティアが多数来園されました。曲目はクラシックから歌謡曲、唱歌と多岐にわたっていました。アンコールでは童謡「ふるさと」を選曲され、枝並さんが「皆さん一緒に歌ってください」と言われて、プロ奏者の演奏に合わせ皆で歌うという贅沢を味わいました。始めは緊張しつつ聞いていたご利用者もすっかり魅了され、終演後に手を振っていました。すばらしい演奏と、ご利用者に笑顔で手を振り返してくださったお二人に心から感謝します。（介護支援専門員 佐々木梅子）

平成30年度各ブロック部会の活動報告

第1ブロック

●第1回研修会 6月15日(金)●

「介護職のための腰痛予防・改善セミナー」



剣持 樹 氏



姿勢をチェック

新潟ユニゾンプラザにて「鍼灸院 樹庵」の剣持樹院長を講師に研修会を開催しました。なぜ腰痛になるのか、身体の歪みとは何なのか、身体を冷やしてしまう食材や生活習慣等説明がありました。また、実際に日常的に短時間で行える腰痛予防の体操について実際に皆さんで行ってもらいました。実際に体験してもらう時間も多く簡単な体操でも身体が温まり効果が実感できる研修内容で、参加者も日常業務を離れて気軽に参加できている様子で楽しい雰囲気を感じました。

●第2回研修会 11月8日(木)●

「特別養護老人ホームにおける看取りの現状と課題」

講師に「特別養護老人ホーム白ふじの里」医務課長有波こずえ氏を迎え開催しました。

有波様からは、看取り介護加算の変遷や白ふじの里での看取りの事例紹介等、高齢者や死亡者数の増加、施設で看取りケアをするに当たっての基本的な流れなどのお話をいただきました。グループワークでは各施設での課題を話し合い、今後の施設での看取りケアへ大いに参考になったと感想が聞かれています。

(担当：吉田浩司)



有波こずえ 氏



看取りに関する課題は？

第2ブロック

●第1回研修会 6月25日(月)●

「地域共生社会における高齢者施設の役割と関わり方」

ユニゾンプラザにて、川崎聖風福祉会 理事・事業推進部長の中澤 伸氏を講師にお招きし、地域包括ケアシステムの仕組みや役割、また福祉施設としてどのように地域と関わっていくかなど、人口推移・年齢構成など様々な資料をもとに今後の問題・課題をわかりやすくご講演していただきました。



中澤 伸 氏



●第2回研修会 12月17日(月)●

「職場活性化・コミュニケーションの大切さ」



山田彩乃 氏



21世紀委員の企画研修として、地域活性化モデルとして活動されている山田彩乃氏より、地域とのつながり・コミュニケーションの重要性について、ご自分の体験談を交えながらご講演していただきました。講演の中で、思っているだけではなく言葉にして外へ発信していく事の大切さ、相手を思いやる気持ちで話す事の大切さについて学びました。

(担当：梅澤 健)

第3ブロック

●講演会 6月29日(金)●

「自立支援・重度化防止の取り組み」

長岡まちなかキャンパスにて公益財団法人新潟県作業療法士会横田剛氏を講師にお迎えし講演をいただきました。自立支援・重度化防止についての意味や取り組みについて実践をまじえながら教えて頂きました。「施設に戻ってすぐに活用したい」「チームアプローチに活かしたい」などの声も聞かれ、非常に実りのある研修が開催できたと思います。



横田 剛 氏



●事例発表会 10月5日(金)●

「伝えたい！！私たちのチャレンジ2018」

燕三条地場産業振興センター リサーチコアにて事例発表会を開催しました。ブロック内外の16事業所より発表をしていただきました。各施設思考を凝らした内容で回を増すごとにレベルがあがっていると感じました。今後も発表会を通して自施設のプラスになるような取り組みができればと思います。

(担当：御苑義彦)



発表者の皆様ありがとうございました。



第4ブロック

●研修会 2月21日(木)●

女将から学ぶ「おもてなしの心」

十日町市のクロステン十日町を会場に、松之山温泉の旅館「ひなの宿ちとせ」の若女将、柳 明美 氏を迎え、研修会を行いました。第一部の講演では、非常に興味深い話が聞け、第二部のグループワークでは、「なぜ接客が必要か？」を始まりとして、各グループで活発な意見を交わしていました。

(担当: 田邊奈緒美)



接客とは？



若女将 柳 明美 氏

第5ブロック

●第1回研修会 6月20日(水)● 「利用者の生活にかかわっていますか？」



佐々木勝則 氏

ホテルハイマートを会場に新潟県介護支援専門員協会の佐々木勝則会長を講師に迎えて「利用者の生活にかかわっていますか？」と題して、生活相談員や介護支援専門員を中心に62名の方々から参加をいただきました。「職員側の都合ではなく、利用者を尊重し、自己決定を支援する。家族や地域との関係性を継続し、生活主体者として関わっていますか？」等の問い掛けに「相談員としての基本的姿勢を再認識できた。」「原点に立ち戻れた。」等の感想が聞かれました。

(担当: 矢嶋文博)

●第2回研修会 8月30(木)●

「口腔ケアの必要性について」

21世紀委員が企画・運営を行った第2回目の研修会は、羽尾歯科医院春日山の羽尾博嗣院長を講師にお招きし「口腔ケアの必要性について～100歳を元気に生きる！いま、あなたの歯に必要なこと～」をテーマに開催しました。口腔ケアからユマニチュード、先生の海外ボランティア活動など幅広い見識と活動を基にお話いただき、総勢55名の参加者からは「楽しい研修会だった。勉強になった。刺激を受けた」との声を多数いただき充実した研修会になりました。

(担当: 北嶋一代)



どうでもいい？
重要？緊急？
いつでもいい？



●第3回研修会 10月24日(水)●

「介護報酬改定から読み解く次回改定の方向性について」



今 裕司 氏



ホテルハイマートを会場に「平成30年度介護報酬改定から読み解く次回改正の方向性について」と題して開催しました。講師に全国老協の今裕司理事を迎え「介護報酬改定の詳細」や「内容決定に至るまでの経過」「地域毎の人口・年齢分布によって生じている経営課題」について事例を交えてお話いただきました。参加者の多くから、今後の見通しや方向性についてヒントが得られたとご好評いただきました。

(担当: 関原礼敏)

あたりまえの暮らしを、ずっと..

特別養護老人ホーム サンクス レルヒの森 施設長

塚田 光知子さん

●施設長リレーコラム●



特別養護老人ホーム サンクス レルヒの森は、スキー発祥の地で知られる上越市 金谷山の裾野にあります。

開設は、平成27年6月のまだまだ駆け出しの施設です。

当施設は、全室個室のユニット型施設です。一つのユニットは10室のお部屋とダイニング、浴室などからなる住まいです。ユニットのダイニングには家庭と同じように食器棚や流し台、冷蔵庫や電子レンジ、トースターなどあたりまえの暮らしに必要なものが置かれています。施設へご入居されても、ご家族様や親しい人々とのつながりを大切に過ごしていただけるよう、御面会の方々には自由にお越しいただき、ユニットや居室で一緒に食事をしたりお茶を飲んだり、外出したりしながら、家族や地域とつながって暮らせることを考えています。また、共に過ごす日常の延長線上には、いずれ最期の時が訪れます。その時どのように寄り添うのか…。ご本人様とご家族様の言葉に耳を傾け、気持ちを酌むことを大切にしています。看取りケアへの取り組みは、試行錯誤の繰り返しですが「日々の真摯な関わりの積み重ね」が大切であることに気づき、気持ちに寄り添ったケアを目指しています。

また、介護職員がより専門的な位置付けになり入居者様と

向き合う時間を多くすることを目的に、地域から家事アシスタントの採用を開始。私服にエプロンという姿で洗濯や食器洗いといった直接介助以外の業務をこなして頂いています。また、家事アシスタントを採用してから、入居者様の御家族から「何かお役に立てれば…」と施設でボランティア活動してみたいという嬉しい声が届いています。

様々な方が施設で活躍していただくことにより、施設のことを大切にしていける輪が広がっています。

当施設は、未来の福祉人材を育てる一端を担わせていただいております。近隣の高等学校から年間200名以上のボランティア学生が来訪され、施設の雰囲気を盛り上げて頂いております。嬉しいことに受け入れた学生ボランティアの生徒さんが夕食の食器片づけに来訪してくださることもあります。

このようなことを実施できるのも、当職員の理解、協力があつてのことです。御利用されているお客様を大切にしたいという優しい気持ちのある職員が、サンクス レルヒの森にはたくさん居ることを誇りに思います。当施設の入居者様や職員にとって居心地のいい場所、地域の方々やご家族にとっても大切な場所と思っていただけるような施設でありたいです。



暖かい日に近所までお散歩♪



筆運びを楽しみながら、達筆な字が続々です！ 納涼祭!!威勢の良い太鼓・ドンドン♪



近くのスーパーへお買いものアイス美味しかった!!



タケノコ汁&梅酒づくり!!
みんなで食べて美味しかった♪



畑に苗を植えるための草取り
一生懸命でした!!



食の楽しさを大切にしています!!



敬老会 地域の園児さんとお祝い！元気パワーをもらいました。

事業所所在地	新潟県上越市大貫2-16-23
運営事業者	社会福祉法人 みんなでいきる
事業所の種類	特別養護老人ホーム 100名
連絡先等	TEL 025-530-6200 FAX 025-530-6201

発行所 一般社団法人 新潟県老人福祉施設協議会
新潟県新潟市中央区上所2丁目2-2 新潟ユニゾンプラザ2F
電話 025-281-5534 発行人 高橋是司
にいがたろうしきょう NEWS 平成31年3月20日発行